No.320S/No.326S

フォノイコライザー・モジュール

1.はじめに

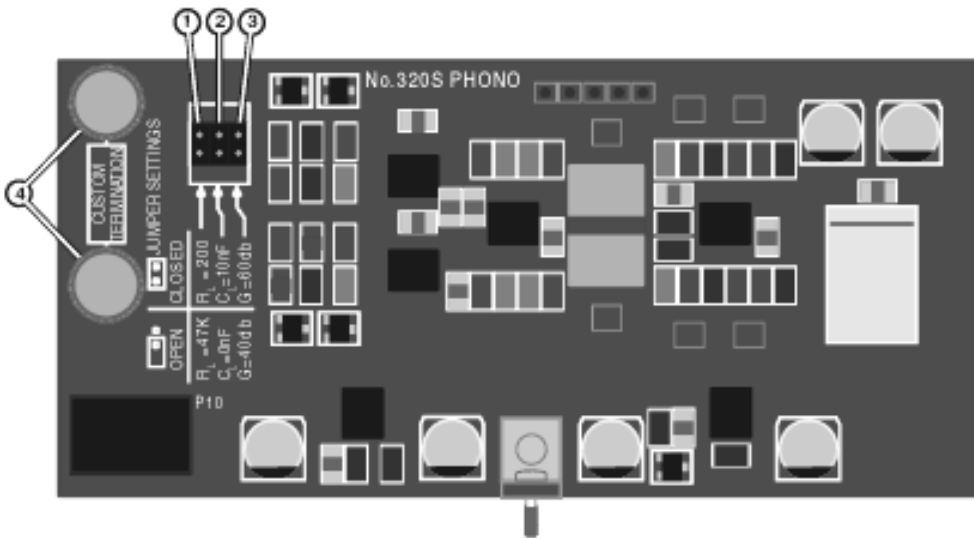
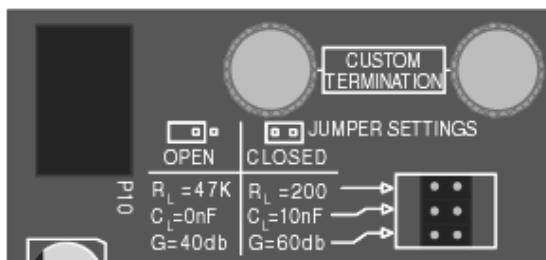
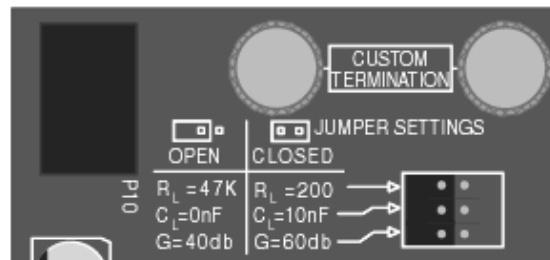
このたびは、マークレビンソン No.320S　No.326S 用フォノイコライザー・モジュールをお買い上げ戴きありがとうございます。モジュールはご指定どおり MC　MM にセットし本体に取り付け済みです。ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読み戴き正しい操作で、末長くご愛用下さい。フォノイコライザーの取り外し、カートリッジタイプ(MC/MM)の変更及びカスタム抵抗を取り付ける場合は、プリアンプ本体のカバーを取り外す必要がありますので弊社サービスセンター、もしくはお買い求めの販売店へご相談下さい。

⚠注意

タイプの変更等の作業をお客様自身で実施した場合、その作業に伴い発生した故障に対しては**保証の対照外となり、弊社はその責任を負いません**のでご注意ください。また作業を行う場合は、人体の持つ静電気からフォノイコライザー・モジュール内のデリケートな部品を保護するため、**帯電防止用リスト・ストラップをご使用**ください。

2.MM/MCの設定

ショーティング・チップ（図Ａの①～③）を図Ｂ、Ｃの様に差し換えて負荷抵抗値、負荷容量、及びゲインが設定出来ます。（出荷時は MC　MM カートリッジに対応しています。）

① 負荷抵抗値の設定　　200Ω（MC カートリッジ）/47kΩ（MM カートリッジ）
② 負荷容量の設定　　0nF（MC カートリッジ）　/10nF（MM カートリッジ）
③ ゲイン　　60dB（MC カートリッジ）　/40dB（MM カートリッジ）
④ カスタムロード・ターミナル(カスタム抵抗取付け用)
　カスタム抵抗を取り付ける場合は 3.カスタム抵抗の挿入をご参照下さい。

図Ａ

図Ｂ　MC

図Ｃ　MM

【*3.カスタム抵抗の挿入*

フォノイコライザー・モジュールには、200Ωと47kΩの2種類の内蔵された負荷抵抗に加え、ユーザー独自の値や素材の負荷抵抗を挿入し、活用する事ができるカスタムロード・ターミナルを装備しています。このターミナルは、電気的には内臓の 47kΩの負荷抵抗と並列に接続されていますので、実際に働く負荷抵抗値は以下の計算で求められます。

(47000Ｘカスタム抵抗の抵抗値)÷(47000＋カスタム抵抗の抵抗値)＝実際の負荷抵抗値
（例）カスタム抵抗40Ωの場合
(47000Ｘ40)÷(47000＋40)＝1880000÷47040＝39.966≒40Ω

以上の式から、挿入する負荷抵抗が1000Ω以下の場合には実際に働く負荷抵抗値はその素子の誤差範囲以内に収まるため、挿入する抵抗の値がそのまま負荷抵抗値と判断できます。挿入する抵抗素子には、精度が高く品質の優れた物をご使用下さい。
カスタム抵抗の挿入は、以下の手順で行って下さい。

① フォノイコライザー・モジュールのCUSTOM TERMINATIONと明記されている所の両端にあるターミナルのネジを緩め抵抗素子の両端のリード線をネジに時計方向に巻き付けてネジを締めます｡余ったリード線は切り取って下さい。
② 負荷抵抗のショーティング・チップを47kΩに設定して下さい。

4.アナログプレーヤーの接続

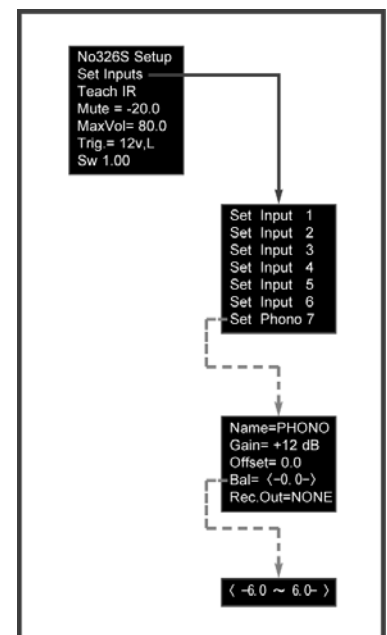
アナログプレーヤーまたはターンテーブルに装着されたトーンアームの出力ケーブルをプリアンプのインプット 7(inputs 7)の入力端子に接続してください。同様に、アースケーブルをフォノ･グランド(phono ground)端子に接続します。
接続が終わりましたら、プリアンプとこれに接続された各機器の電源を入れ、動作を確認して下さい。プリアンプのINPUT７の入力を選択すると、ディスプレイにPHONO 7と表示されます。

5.セットアップの変更

フォノイコライザー・モジュールを装着すると通常の入力設定に加え、次の２項目が変更、追加されます。

ソース名： Name = PHONO,PH/MC(オリジナルソース名),unused
バランス： Bal = 〈 -6.0～0.0～6.0- 〉(Lch ～ Rch)

ソース名：
フォノイコライザー・モジュールを装着した事により、インプット７の入力ソース名は自動的にPHONO 7と表示されます。さらにセットアップ変更により、PH/MC(フォノのMC型設定を意味します)、 unused(フォノ入力を使用しない時に選択します)が選択可能です。また、ソース名に PH/MC を選択した状態から、アルファベットと数字、記号を組み合わせた最大７文字のオリジナルソース名が作成できます。

バランス：
カートリッジの左右出力レベルの違いに起因する左右チャンネル間のレベル差を補うことができます。ここでのバランス調整はフォノ入力のみに反映されますので、プリアンプのバランス･ボタンの操作によるシステムのバランス調整に影響を与えることなく独立した調整が可能です。
各設定の変更はプリアンプ本体の取扱説明書６ページ、10.セットアップの変更の頁をご参照下さい。

harman international
ハーマンインターナショナル株式会社
製品に関するお問い合わせは､弊社マーケティング部 ℡03-3836-5660まで、
修理に関するお問い合わせは、下記東京サービスセンターまでご連絡ください。
SC.2K5.4.19
東京ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ：〒135-0033 東京都江東区深川1-6-29 結城運輸倉庫(株)内 ☎ 03 (5639) 3011
本社営業部 ：〒110-0005 東京都台東区上野5-7-7 公徳堂ビル ☎ 03 (3836) 5641
大阪営業所 ：〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-12-15 双葉ビル602号 ☎ 06 (301) 1396
福岡営業所 ：〒816-0844 福岡県春日市大字上白水418-4 第２金信コーポ１Ｆ ☎ 092 (573) 2023